

人生儀礼

人生儀礼は人がこの世に生まれ、一生の間に行う神事儀式です。一生には様々な節目があり、神様にこれまでの成長を感謝する事で新たな決意と飛躍に繋がると考えられています。祖先から伝えられた人生儀礼を大切にし、感謝の心をもって生活しましょう。

安産祈願	妊娠五ヶ月の戌（いぬ）の日に神社へお参りし、母体の安全と無事な出産を祈ります。妊婦はこの日から、赤ちゃんが丈夫に育つよう「岩田帯」を締めます。
出産祝い	赤ちゃんの誕生を神様に感謝し、赤飯などをお供えします。
お七夜祝い	誕生七日目に赤ちゃんに名前をつけ、お祝いします。その夜、命名書を神棚に供え神様に奉告し、親戚や縁者にお披露目します。
初宮参り	赤ちゃんが初めて神社に参拝し、健やかな成長を祈ります。地域差はありますが、近年では男児女児共に生後一〇日にお参りするのが一般的です。
お食初め	生後百日頃に、成人と同じ食膳を据えて、赤ちゃんに食べる真似をさせ、健康長寿を祈願します。
初節句	生後初めての節句は女兒三月三日（桃の節句）、男児五月五日（端午の節句）に行い、末永く幸せに健康であるように祈ります。
七五三詣	三歳の男女、五歳の男児、七歳の女児がこれまでの成長を神様に感謝し、今後更なる発展を祈願します。七五三詣は十一月十五日が本日ですが、十一月中に参拝されるのが一般的です。
入学卒業の祝い	学校への入学、卒業時には神様へ感謝のお参りをし、学業成就を祈ります。
髪上祝 (女子十三歳)	十三歳は身も心も大人の女性へと成長する年齢です。古来十三歳にはかんざしを髪にあって、初めて帯を腰に結ぶ儀式を行っておりました。大和撫子らしい、心清らかな女性に成長するよう祈願します。
元服祝 (男子十五歳)	かつて武士の子息は、元服を迎えると神社で武運長久を祈りました。元服とは、社会の仲間入りをする年齢の意味で、強い身体と精神力をもった大人に成長するよう祈る人生儀礼です。
成人式	満二十歳に無事大人の仲間入りできたことを神様と家族に感謝し、社会人としての自覚を持つことを誓います。
結婚式	神様の御縁で結ばれた二人が、御神前で苦楽をともにし、明るい家庭を築くことを誓い、子孫の繁栄を祈ります。
結婚記念日	夫婦が仲良く過ごした日々感謝し、今後も末永く平穏で幸せな生活が送れるよう、神社にお参りします。
厄除 (厄祓)	男性は二十五・四十二・六十一歳、女性は十九・三十三・三十七歳を厄年といひ、身体的にも社会的にも転換期といわれています。この年とその前後の年(前厄・後厄)には神社にお参りし、厄除をします。
身祝い (賀の祝い)	節目である還暦(六十一歳)、古稀(七十歳)、喜寿(七十七歳)、傘寿(八十歳)、半寿(八十一歳)、米寿(八十八歳)、卒寿(九十歳)、白寿(九十九歳)、上寿(百歳)には、神社へお参りし家族揃って長寿を祝い、健康を祈願します。